

平成三十年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成三十年二月一日〜平成三十年四月末

投句数 二、〇九四句

特選三句

天

鎌倉に住んでみたしと梅探る

埼玉県狭山市

古谷 多賀子

地

風にのり風になりけり梅の花

神奈川県藤沢市

笹川 希伊子

人

天井に龍棲む寺や牡丹の芽

神奈川県横浜市旭区

加瀬 伸子

入選句

一般の部

虚子眠る谷戸の鶯ひもすがら

東京都武蔵野市

池田 宏治

切通し抜けければ海や風光る

静岡県磐田市

太田 和志

日向ぼこ美男に在す大仏と

東京都大田区

荻野 操子

江ノ電の揺れて展けし春の海

東京都八王子市

冲山 吉和

鶯の谷戸から谷戸へ訝する

東京都渋谷区

小熊 紀子

鎌倉の古刹めぐりて春惜しむ

東京都目黒区

片桐 啓之

囀に白亜観音笑み給ふ

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

遠足の子らと大仏ながめおり

東京都新宿区

久保田 尚代

春風と潮風混ざる青い空

茨城県水戸市

小林 梨奈

鎌倉の小さき寺より梅咲きぬ

神奈川県鎌倉市

斎藤 銀子

江の島の路地下りゆけば磯の春

栃木県宇都宮市

斎藤 邦子

鎌倉の遅日の谷戸を歩きけり

神奈川県横浜市金沢区

篠原 広子

江ノ電の過ぎ行く庭の落花かな

岐阜県本巣市

清水 宏晏

きざはしの一步一音春惜む

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

訪ね来し虚子の墓前の梅一輪

愛媛県松山市

平川 和代

源氏池の蓮の浮葉に日の斑かな

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

正谷 民夫

江ノ電や一駅毎の暖かさ

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

傍らに不動明王牡丹の芽

神奈川県川崎市麻生区

横川 博行

鎌倉は文士の里や梅真白

神奈川県熊本市南区

米岡 新一

歩幅より広き階段山笑ふ

埼玉県比企郡

渡邊 俊一

(順不同)

入選句

子どもの部

はるのこえいろんなこえがきこえてる

東京都世田谷区

海老原 旬

風光る大仏光る寺光る

埼玉県志木市

小松 悠太

うぐいすがきれいな声で鳴いている

神奈川県鎌倉市

井上 愛海

ぽつぽつと春雨の降るなめりがわ

神奈川県鎌倉市

下田 拍輝

だいぶつときくらに見とれひとのなみ

千葉県千葉市花見川区

小林 蔵之介

たんぽぽははるがはじまるしるしだよ

東京都世田谷区

松本 妃央

かまくらにだいぶつさまときくらのき

埼玉県川口市

小堀 柊

かまくらでしらすをたべてまんぞくだ

東京都目黒区

前島 香音

たんぽぽがかぜにふかれてとんでいく

神奈川県川崎市

あべ あかね

はるのかぜトンビをのせてながれてく

神奈川県横浜市神奈川区

久羽 詩月

(順不同)